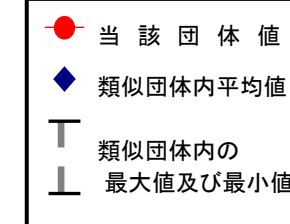


# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

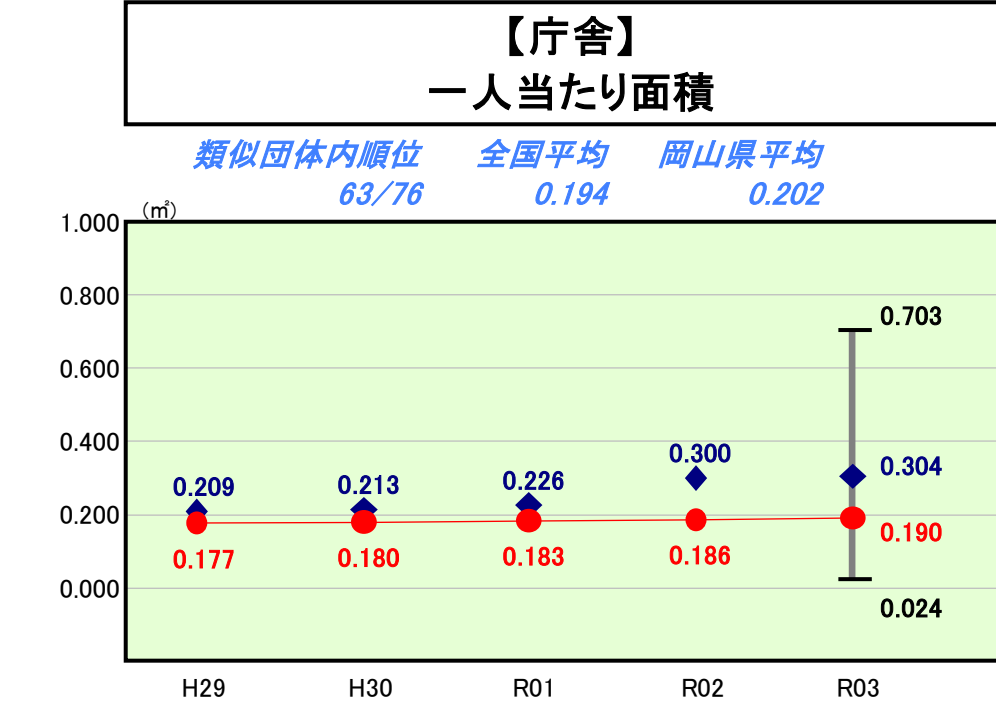
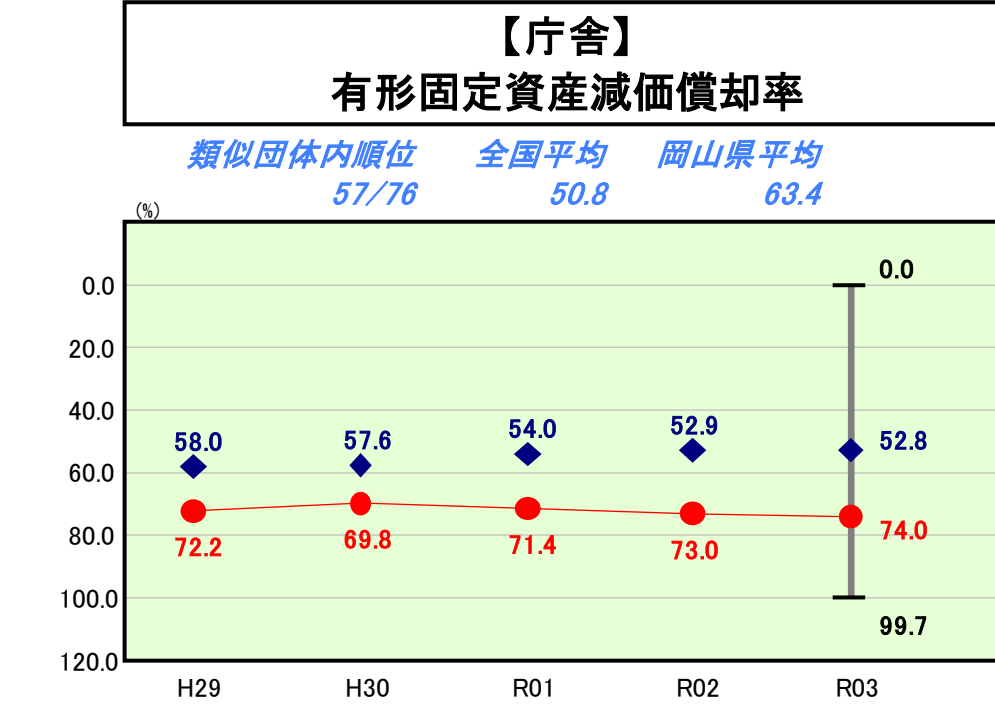
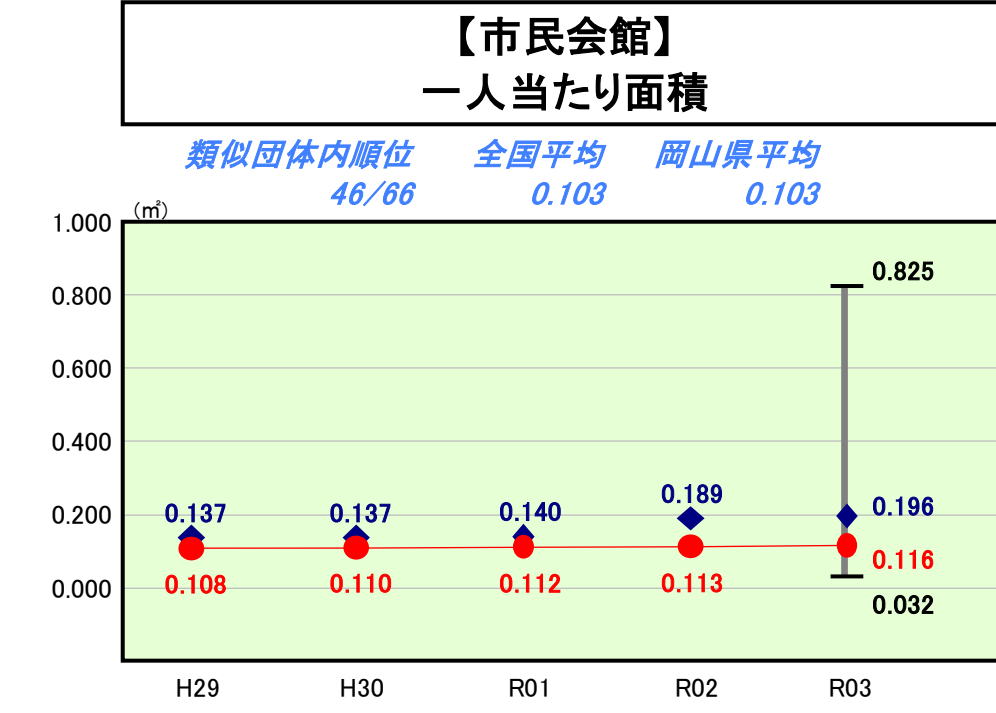
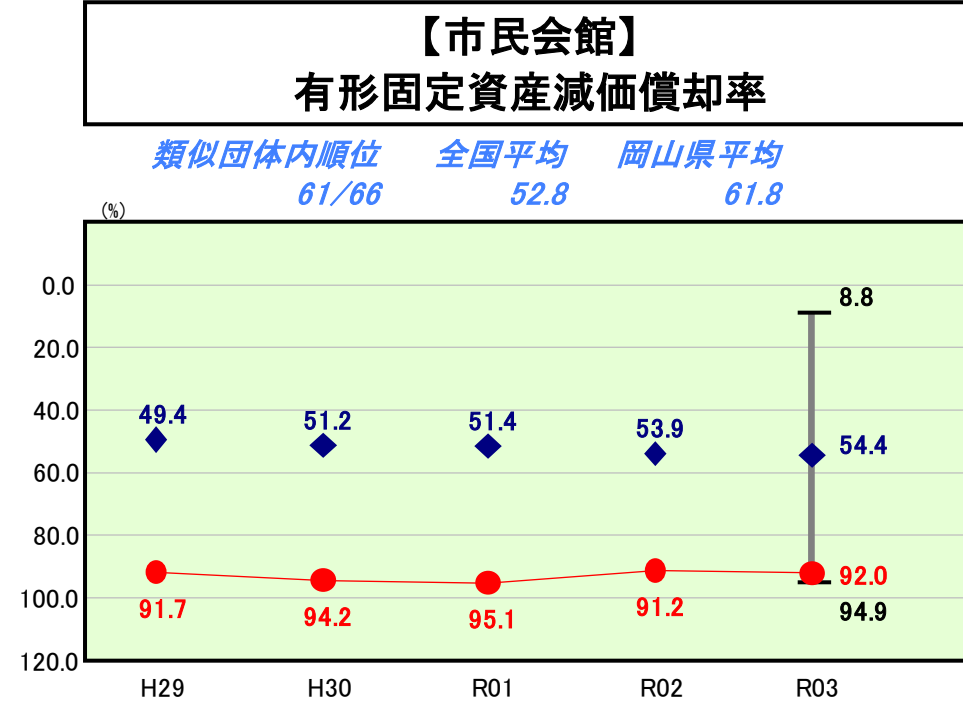
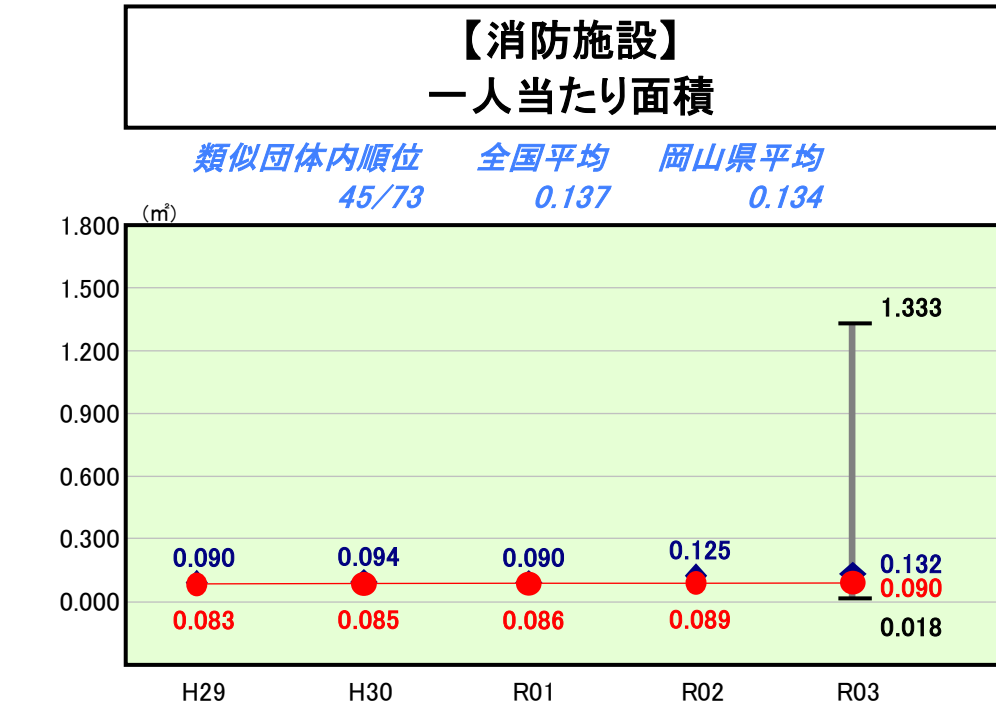
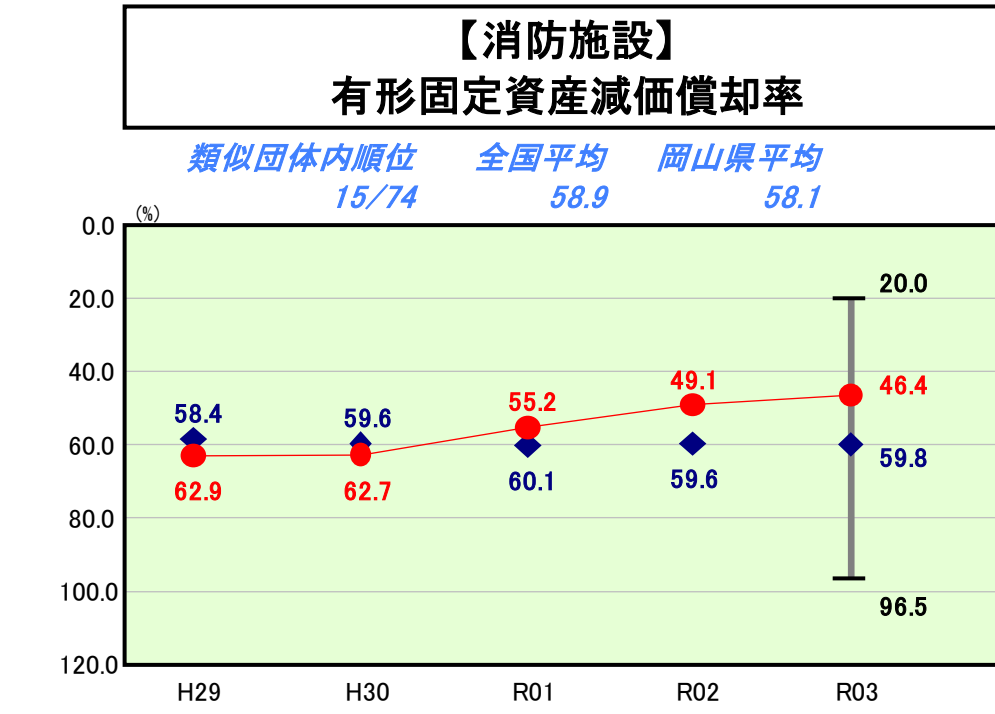
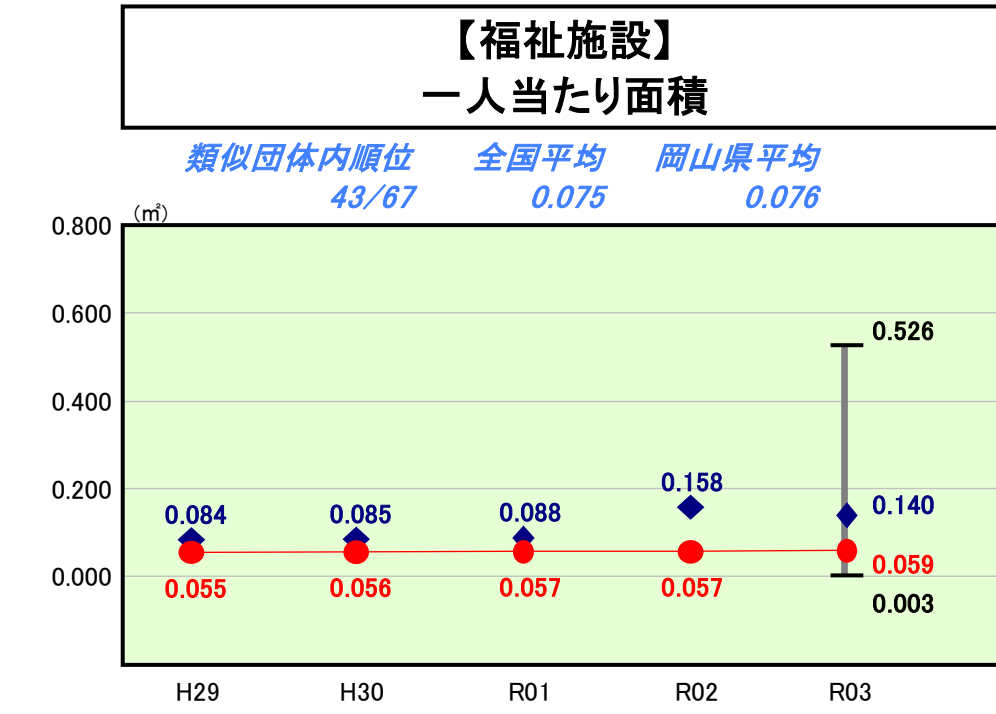
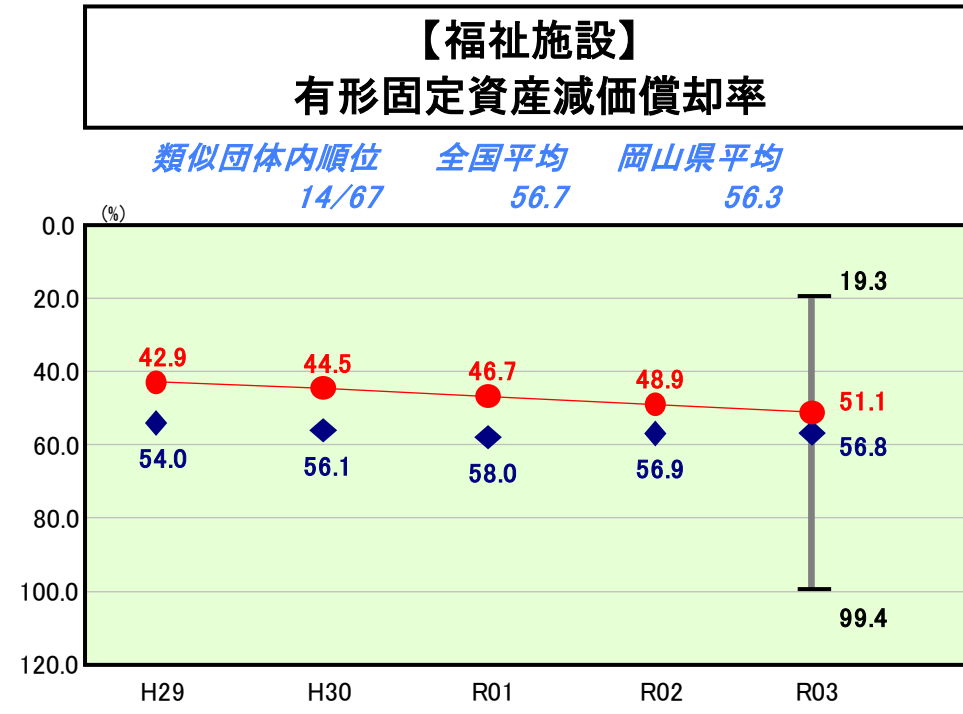
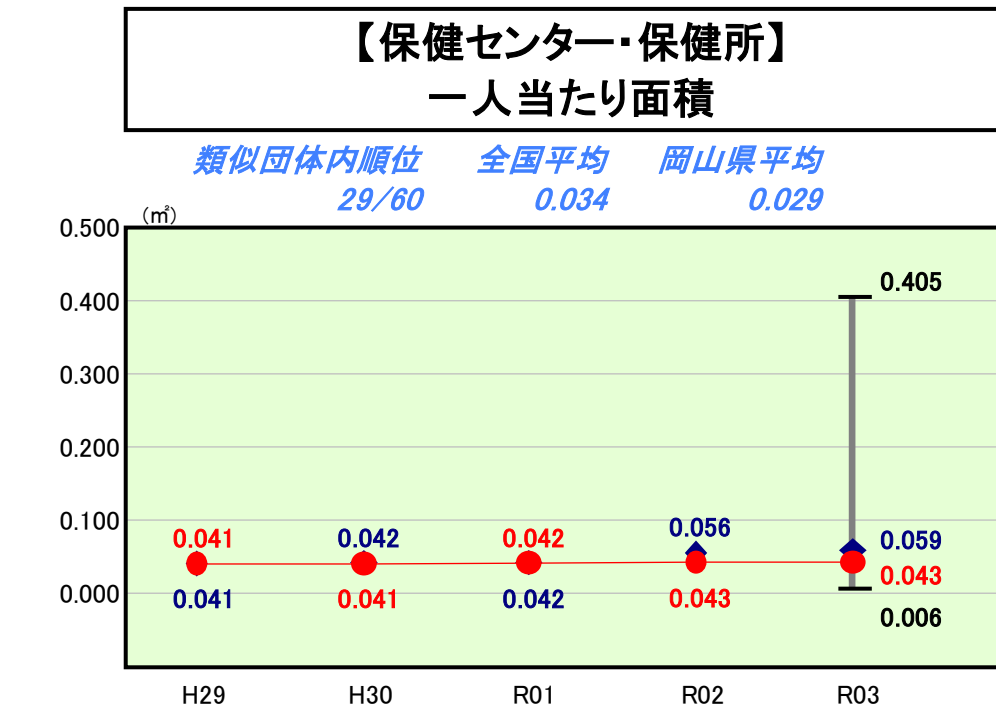
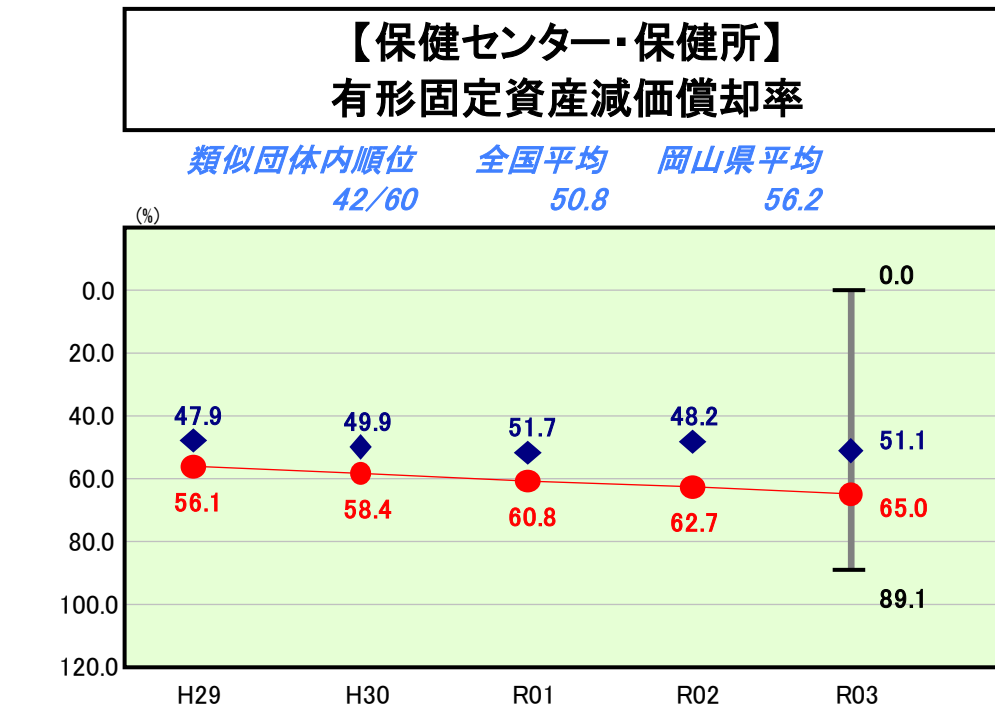
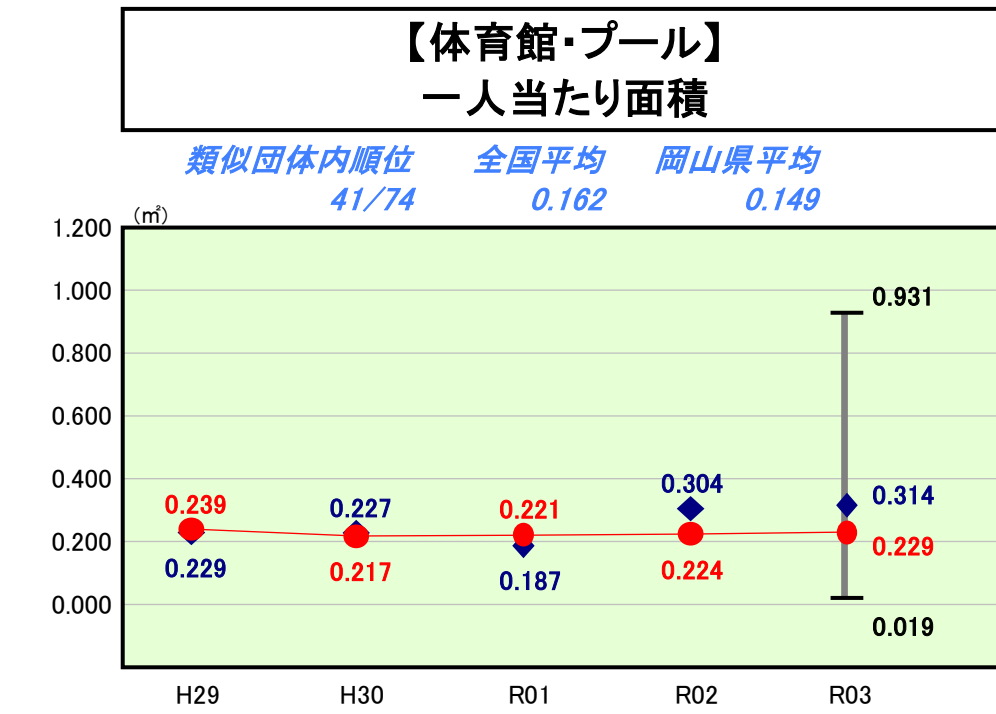
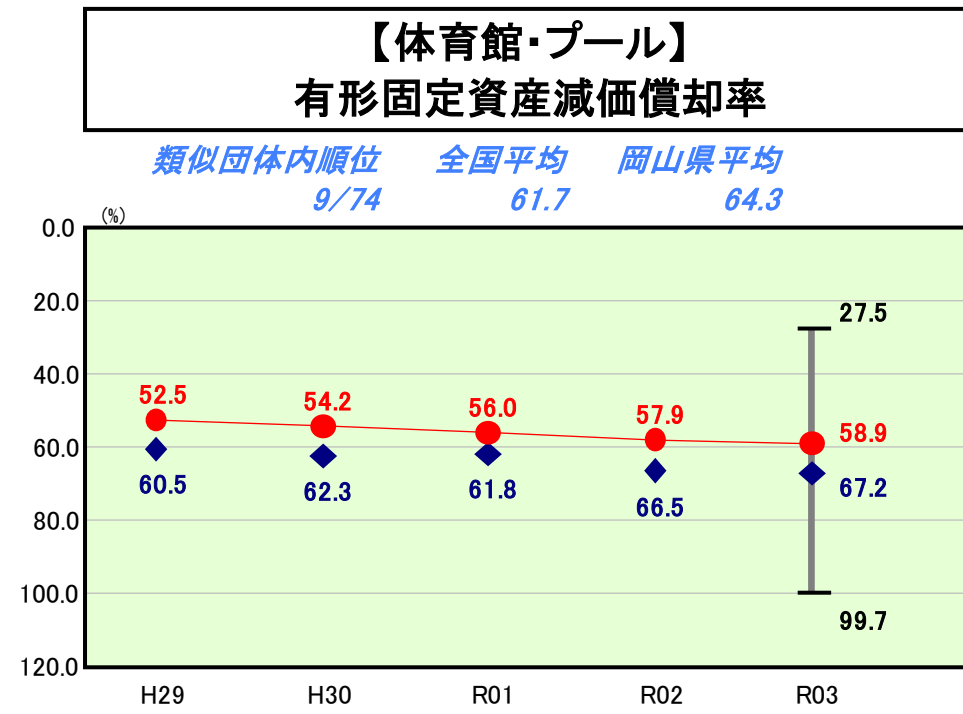
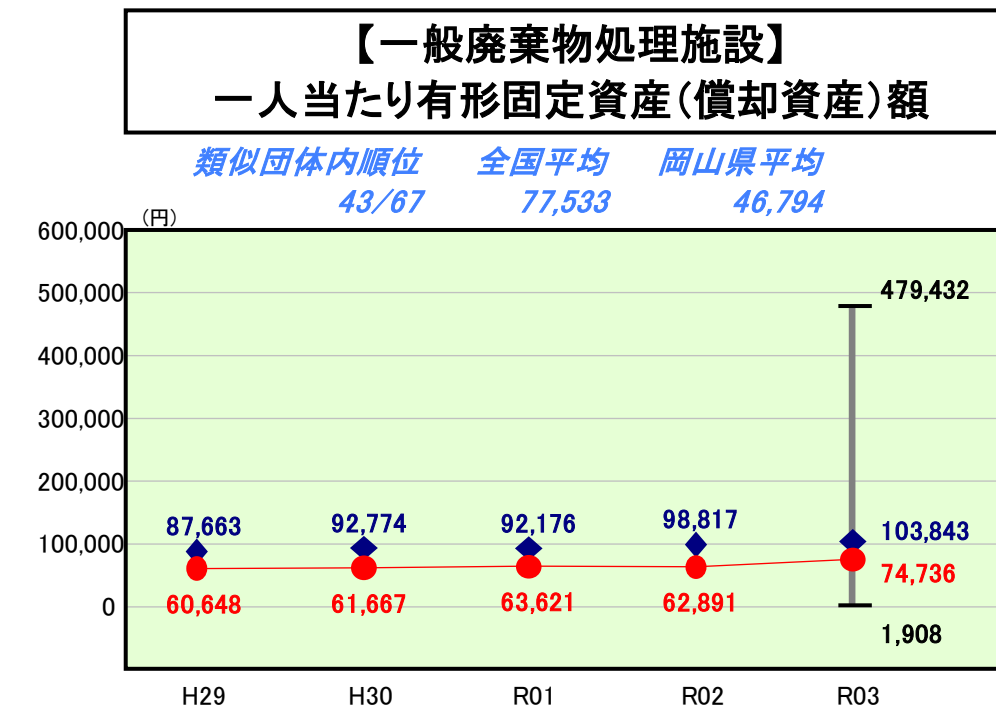
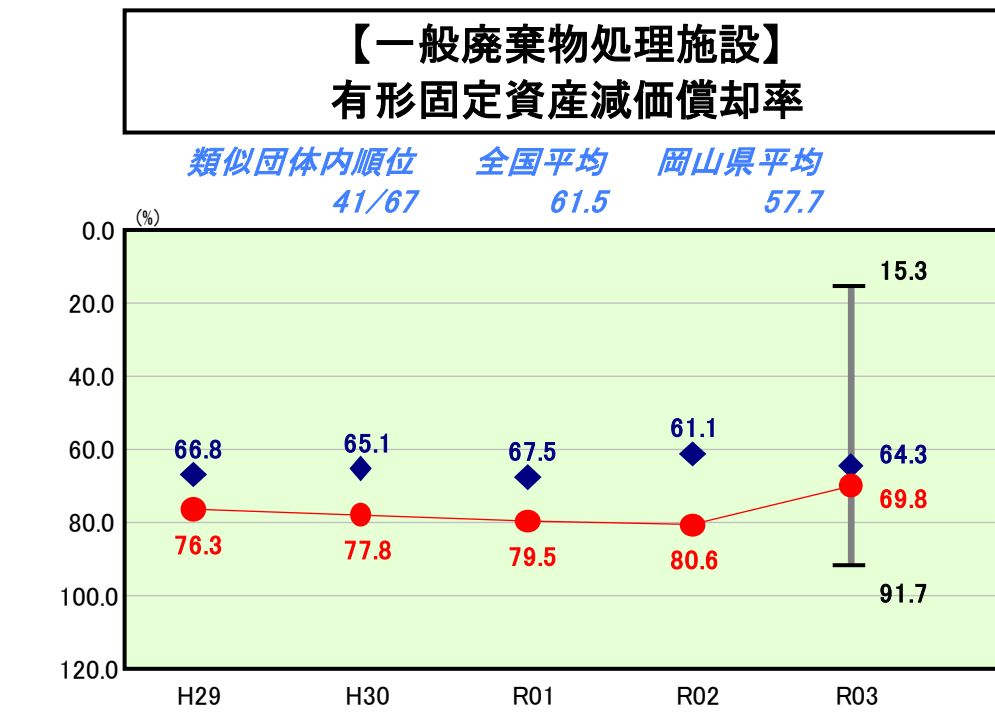
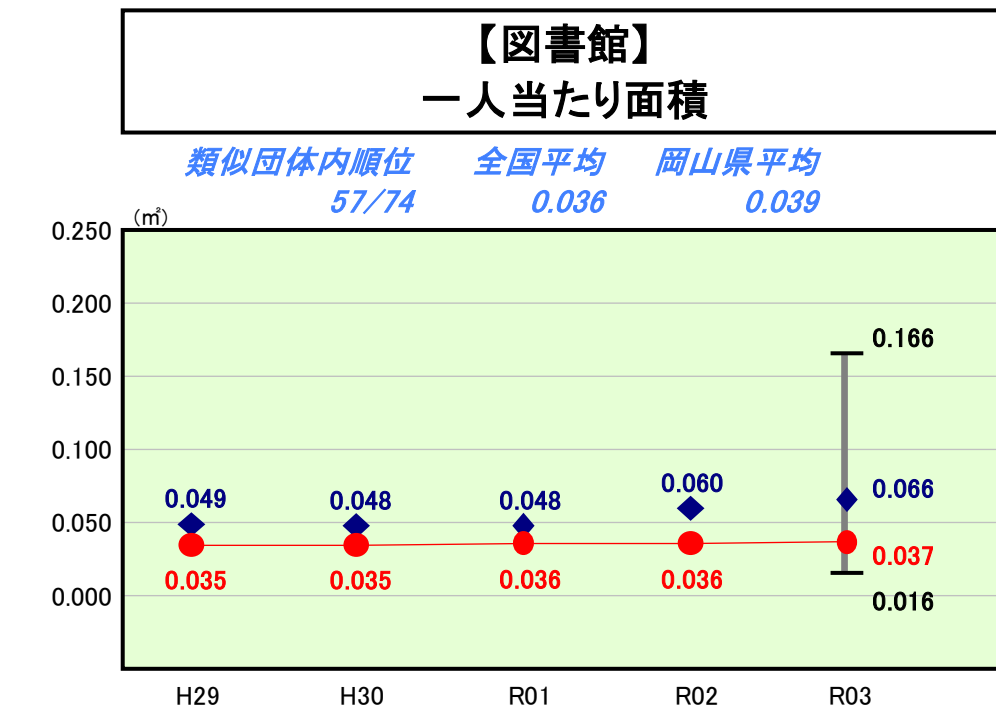
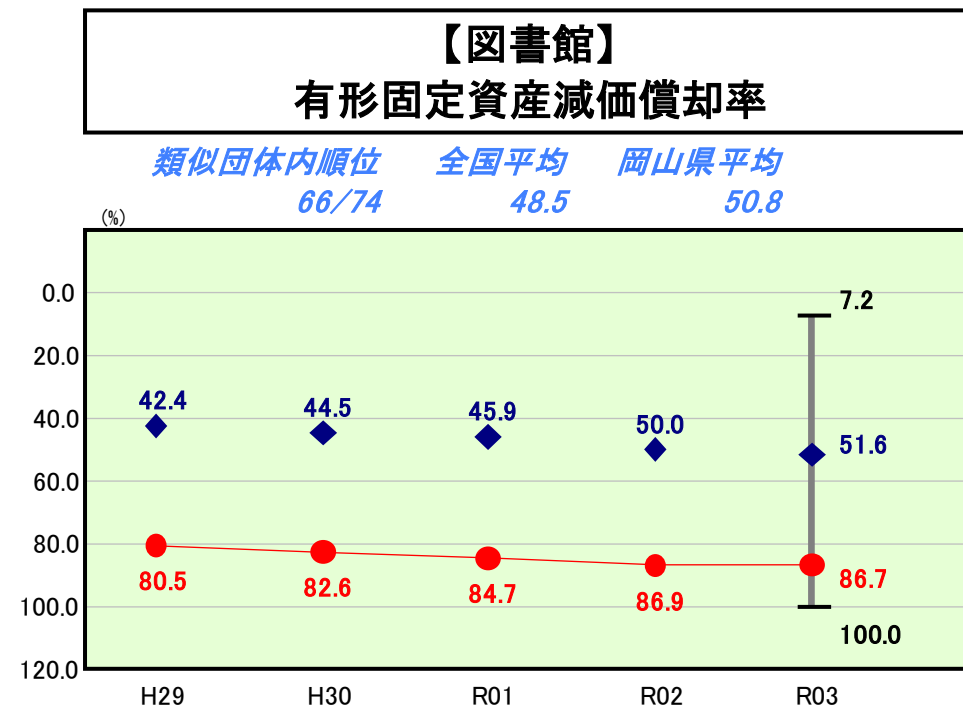
令和3年度

岡山県笠岡市

人口	46,270人 (R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	45,689人 (R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	136.24 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.5%
歳入総額	27,275,011千円	将来負担比率	51.0%
歳出総額	26,388,381千円	市町村類型	H29 II-2 H30 II-2 R01 II-2
実質収支	814,183千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2
標準財政規模	13,895,677千円		
地方債現在高	27,449,329千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。  
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



#### 施設情報の分析欄

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率は、ほぼ全ての施設において、平均より高い数値となっている。これらの有形固定資産については、本来、計画的に整備(除却・集約・複合化など)の必要があるが、本市の財政事情により、維持補修での対応が中心であり、これが有形固定資産減価償却率を引き上げる要因となっている。どの施設についても、耐用年数を経過または近いうちに経過するため、公共施設等総合管理計画に基づき、適切な整備を行っていく必要がある。